

2023年3月22日

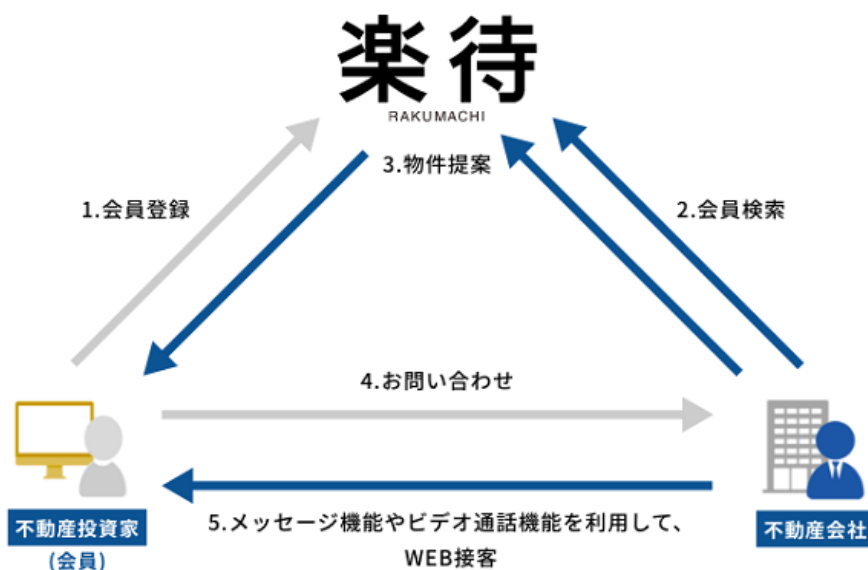
経済産業省の「IT 導入補助金 2023」対象ツールに 「不動産投資の楽待」が認定されました

2年連続で認定、不動産の売買業務を効率化できる「提案サービス」が対象

<本リリースのポイント>

- ・不動産業界のDXを支援する「提案サービス」が2年連続で「IT 導入補助金」対象ツールに認定
- ・提案サービスは、国内・米国で特許を取得してる楽待独自の物件紹介サービス
- ・今後は ChatGPT を使った更なる業務効率化につながる機能の追加も検討

株式会社ファーストロジック(本社:東京都中央区、東証スタンダード、証券コード:6037)が提供する、水面下で物件の紹介ができる「提案サービス」が、経済産業省の「IT 導入補助金 2022」の対象ツールとして認定されました。提案サービスとは、国内・米国で特許を取得した弊社独自の物件紹介サービスです。不動産会社の物件売買にかかる業務効率化に更に役立つよう、今後は ChatGPT を活用した機能開発も検討しています。



提案サービスの概要図

【楽待の提案サービスとは】

国内・米国で特許を取得した楽待独自の物件紹介サービスです。不動産会社は、物件情報を不特定多数の人に出すことなく、アプローチしたい不動産投資家に直接、物件を紹介することができます。現在、物件を紹介できる不動産投資家の数は16万人以上。投資家は事前に年収・自己資金などの属性情報や、希望する物件の条件を登録しているため、不動産会社は購入意欲が高い方を選んで物件を紹介することができます。

【「IT 導入補助金」とは?】

「IT 導入補助金」とは、中小企業・小規模事業者等が自社の課題やニーズに合った IT ツールを導入する経費の一部を補助することで、業務効率化・売上アップをサポートするものです。当社においては、不動産会社向けに提供している「提案サービス」の「プレミアムプラン」および「スタンダードプラン」が IT 導入補助金の対象ツールとなりました。

【不動産投資の「楽待」概要】

2006年3月に開設した「楽待」は、月間168万人が訪れる、使いやすさ・利用者数・掲載物件数・No.1(*)の不動産投資サイトです。全国4500社の不動産会社が毎日物件情報を登録しており、ユーザーは自身の希望条件で絞り込んで、目当ての物件を探すことができます。

また、不動産投資専門メディア「楽待新聞」を通じ、業界のニュースや不動産投資の成功談・失敗談などを発信。公式 YouTube「不動産投資の楽待(らくまち)」はチャンネル登録者数40.6万人、総再生回数は1億7000万回にのぼります。(2023年3月時点)

不動産業界のDX(デジタルトランスフォーメーション)を促進するため、2020年6月には、不動産会社とオンライン上で会話ができる「ビデオ通話」機能もリリースしました。

「公正な不動産投資市場を創造する」というビジョンのもと、不動産投資家・加盟不動産会社の双方にとって使いやすい機能やサービスの提供に努めてまいります。

【会社概要】

社名:株式会社ファーストロジック

URL:<https://www.firstlogic.co.jp/>

上場市場:東証スタンダード(証券コード:6037)

本社:東京都中央区八丁堀三丁目3番5号 住友不動産八丁堀ビル5階

設立:2005年8月23日

事業内容:国内最大の不動産投資サイト「楽待」の運営

【本件の問い合わせ】

株式会社ファーストロジック広報担当:金子(かねこ)・尾藤(びとう)

携帯電話:080-4129-5743

固定電話:03-6833-9438

E-mail:rakumachi@firstlogic.co.jp

*『物件数 No.1』:日本マーケティングリサーチ機構調べ(2022年12月)

『使いやすさ No.1』:ゴメス・コンサルティング調べ(2022年12月)

『利用者数 No.1』:自社調べ(2022年12月)